

北九州外国人支援関係機関連絡会議に出席しました！

2026年10月1日（木）に行われた、令和8年度第1回「北九州外国人支援関係機関連絡会議」に福岡県行政書士会から7名が出席しました。

この会議は平成25年から年に2回程度定期的で開催されており、関係者の中では「外支連（がいしれん）」という愛称で呼ばれています。また、文部科学省から補助を受ける「地域日本語教育の総合的な体制づくり推進事業」の総合調整会議を兼ねています。北九州市の教育・福祉担当の各局・各課、学校関係者、福岡県弁護士会国際委員会、当会、（公財）北九州国際交流協会から40名以上が参加し、地域で暮らす外国人が直面する課題について、それぞれの専門分野から意見を交わしました。

各分野の専門家が知恵を出し合える関係づくりを目指して

会場は北九州市八幡西区黒崎の生涯学習総合センター（コムシティ3階）で、同じ階ではこの会議を主催する（公財）北九州国際交流協会と福岡県行政書士会が毎月外国人相談会を開催しています。会議冒頭では、同協会の地域日本語教育統括コーディネーターの矢野花織さんより、外国人に携わる方々が顔の見えるつながりをつくる場として「いい意味で、ゆるい関係を目指す会です」というお話がありました。その後、数名ずつのグループにわかれ、さまざまな分野・立場の方々と意見を交わし、交流を深めました。

「疑問を解決！在留資格の基礎知識」について話しました

会の中盤では、国際渉外部の宮武部長・松本副部長が登壇し、在留資格の基礎知識について説明し、参加者から出た質問に答えました。また、在留資格に関する最新の動きについても触れました。後半のケーススタディでは、就労中に病気になった外国人、留学中に妊娠した外国人の事例をもとに、本人や家族の状況も踏まえながらどのような対応が考えられるかを話し合いました。